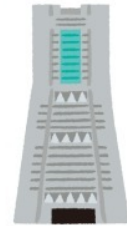


初期研修医募集案内

横浜の地で

育む

医師の礎



YOKOHAMA Be ACTIVE!



KIKUNA MEMORIAL HOSPITAL



医療法人五星会
菊名記念病院

©Yokohama Medical Group



YOKOHAMA Be ACTIVE!

KIKUNA MEMORIAL HOSPITAL

医療法人五星会
菊名記念病院



Yokohama Medical Group

横浜の地で育む医師の礎

菊名記念病院を基幹とするこの研修プログラムは、卒後臨床研修の必修化に伴い、

医師国家試験合格後の2年間の初期臨床研修を目的としたものです。

この研修期間において、できるだけ多くの科で修練し、

臨床医に求められる基本的な知識・技術・態度を習得するとともに、プライマリ・ケア全般の

初期診療に関する能力を身につけ、病人の持つ悩みや苦しみなどの

心理的・社会的側面を認識でき得る愛情豊かな医師の育成を行っていきます。

また臨床の場を通して、生命の尊厳を実経験として認識し、医の倫理の涵養を図り、

全人的医学を学び、医師としての基礎固めを行います。

研修終了後、医師としてのさらなる研鑽を積むための基礎を構築するものです。



Message from Hospital Director

院長メッセージ

地域を支えるチームの一員として

医師としての大切な一歩を

院長 村田 升 Noboru Murata

菊名記念病院は、全国トップレベルの人口を抱える神奈川県横浜市北部地域に位置し、「質の高い急性期医療を通じて地域社会に貢献する」という理念のもと、218床と中規模ながら横浜市の民間病院の中でも一・二を争う急性期病院です。横浜市指定の二次救急拠点病院であり、内科系、外科系を含めて救急体制を維持し、医療ニーズの高い地域の急性期医療・救急医療の重要な役割を担っています。

救急車を断らないことをモットーに、年間約7,300台以上の救急車を迎え、救急を要する患者さんの診療を24時間体制で行っています。コ・メディカルスタッフも薬剤師、放射線技師、臨床検査



技師、臨床工学技士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、社会福祉士、管理栄養士など合わせて計131名と充実し、どのような患者さんに対しても適切な対応ができるように、常に最適なチーム体制を心がけております。

このような医療環境の中で多くの症例を先輩医師、臨床指導医のもとで学び、また多種医療従事者をつくるチーム医療の輪の一員として、多彩な症例を実践的に診て臨床経験を積むことがで

きる研修の場であると自負しています。

初期臨床研修は医師人生のスタートであり、どの病院で研修をするかは今後の医師人生を決めると言っても過言ではない非常に重要な選択です。この冊子に登場する菊名記念病院の医師たちの声をぜひ聞いてください。当院でなら、全人的な臨床能力を有した医師としての確かな土台を養うことができ、あなたがこれから歩む長い医師人生を素晴らしいものにすることができるでしょう。

FEATURES

研修の特徴



01 急性期病院で学ぶ救急医療

急病と外傷の比率は3:2となっており、その症状は軽症から重症までさまざまです。病棟よりも迅速な対応と、鑑別診断能力が求められるため、自分で考えて診察をすすめていく力が身につきます。



02 救急は当番制

他の研修病院が救急研修を約3ヶ月の期間で行っているのに対し、菊名記念病院では週1回の当番制という方法をとっています。長期にわたり、継続して救急外来を経験することで、さまざまな症例を診ることができます。



03 研修は少人数

菊名記念病院の2017年度の受け入れ人数は4名でした。研修医を少人数にすることで、ひとつひとつの症例を掘り下げて経験することができ、一人あたりが経験できる症例数が多いといえます。

アットホームな雰囲気の中で チーム医療を肌で感じられる環境

初期研修1年目 松岡 雄治 Takeharu Matsuoka

故郷や学生時代に慣れ親しんだ地域を離れ、知らない地域で研修することに不安はありませんでした。見学時の研修医と医師やスタッフの距離の近さ、アットホームな雰囲気の研修環境を見て、視野も考え方の幅も広がると思い、入職前は不安よりも期待感が大きかったと思います。実際に研修がはじまり実感したことは、ローテート中の診療科の指導医や他の先生方はもち

ろん、看護師やコ・メディカルスタッフの方も含め診療科全体で研修医をサポートしてくれるので、コミュニケーション力を含めた医師としての基礎を習得するにはとても良い環境だということです。診療科ごとの垣根も低くローテート中ではない他科の先生も研修医を気にかけてくれるので、相談もしやすく、各診療科との連携やチーム医療を身近に学べる研修環境です。



DOCTORS'
VOICE
01
初期研修医

出身地：福岡県
出身大学：山口大学

慣れ親しんだ地域の中で 充実した研修生活を過ごす

初期研修2年目 上村 真央 Mao Kamimura

生まれ育った地域ということで、地域住民の方々から頼りにされている救急病院だということは、以前から認識がありました。なじみのある地域で医師として貢献したい気持ちと、見学時に顔見知った家族のような関係で働いている病院の雰囲気がとても印象的で“ここでなら頑張れる”と思い当院を研修先に決めました。研修環境の特徴として、ローテート中の科だけにとらわれ

ることなく、科を越えて先輩医師に相談やコンサルトができますので、興味関心や意欲の高い方にとっては、とても良い環境だと思います。プログラムの枠にとらわれずに各科の専門性に触れ、特性などを幅広くみられるので、入職時に将来進みたい診療部門が決まっていなかった私にとって、働いていくうちに興味を抱くことができるこの環境が、とても合っていたと思います。



DOCTORS'
VOICE
04
初期研修医

出身地：神奈川県横浜市
出身大学：東京女子医科大学

幅広い視点で多くのことに触れ 医師としての確かな礎を築く

初期研修1年目 昼間 楓 Kaede Hiruma

研修医時代に多くの経験を積みたいという思いで、救急車の搬送数や症例数の多い当院を研修先に選びました。入職後はオリエンテーションの一環として、同時期に就職した看護師さんやコ・メディカルスタッフの方々と一緒に関連施設をバスで周ったり、一般的な座学を中心に病院対応や採血の練習など、現場に出る前に職種の枠を超えて病院全体の雰囲気を見るところからスタートします。大きな病院と違って、医師だけでなく看護師やコ・メディカルスタッフの方との交流も多く、幅広い分野の話をたくさん聞かせてもらえるアットホームな環境です。将来は診断から治療、退院サポートまで一人で診られるような医師を目指して、大切な研修期間にたくさんの患者さんに触れ、手技や症例の実績を積み、医師としての確かな基礎を身につけたいと思います。

ろからスタートします。大きな病院と違って、医師だけでなく看護師やコ・メディカルスタッフの方との交流も多く、幅広い分野の話をたくさん聞かせてもらえるアットホームな環境です。将来は診断から治療、退院サポートまで一人で診られるような医師を目指して、大切な研修期間にたくさんの患者さんに触れ、手技や症例の実績を積み、医師としての確かな基礎を身につけたいと思います。



DOCTORS'
VOICE
02
初期研修医

出身地：大阪府
出身大学：北海道大学



DOCTORS'
VOICE
05
初期研修医

出身地：福井県
出身大学：札幌医科大学

研修医の今だからこそ 未来を見据えた幅広い経験を積みたい

初期研修2年目 倉内 大門 Daimon Kurauchi

将来は泌尿器科の専門に進むと決めていたのですが、専門的な症例を学ぶより、研修医の今だからこそ、いろいろなことに触れて、経験を積める環境を探していました。当院は中規模ながら、救急の受け入れや症例数が非常に多く、地域住民に身近で質の高い医療を提供していること、また全部の診療科が揃っていない中で、どのようにして足りない部分を補っているのか、

地域との連携やチーム医療の体制を実践的に学べると感じ、医師としてのスタートをきる場所に相応しいと思い研修病院に決めました。現在までの研修を振り返ると、当院ならではの研修環境のおかげで、多くの経験が積めて、成長した実感もあります。しかしそれ以上に、今の自分に足りないところや今後の課題が明確にわかってきたことが、一番の収穫だと思います。

オンオフもしっかり切替え！ 自分にあった研修環境

初期研修1年目 小林 亮平 Ryohei Kobayashi

当直勤務は内科系、外科系それぞれの上級医の先生のもとで体制がしっかりしているので、研修医が一人で対応することはなく、先生に聞きながらローテート中の科に限らず幅広い症例を診ることができます。また全科が一部屋に集まっている医局と研修医だけの研修医室がありますので、日頃からコミュニケーションは取りやすく、相談も気軽にできます。

オンオフの切替えは病院側がしっかり管理してくださるので、休日はしっかり休めて、オンコールや残業もほとんどありません。その分勉強やプライベートの時間をしっかり確保できています。研修環境の特徴として、他施設へ勉強に行く機会が多いので、救急病院とはまた違った環境にも触れられると思います、これからの研修がとても楽しみです。



DOCTORS'
VOICE
03
初期研修医

出身地：京都府
出身大学：三重大学

自ら考え、幅広い医療に携わりながら 地域住民の日常生活を支える

初期研修2年目 本道 春花 Haruka Hondo

研修医が少数制ということもあり、さまざまな症例を取り合うことなく経験できますし、研修の早い時期から医師として役に立てる機会に恵まれていると思います。わからないことも多い中で、指導医の先生が手取り足取り丁寧に教えてくださり、はじめは緊張していた手技や、患者さんの治療方針も、まずは自分で考えて、研修を通して知識も経験も多く積めて、冷静に対応

できるようになったと実感しています。循環器をローテート中にカテーテル治療に参加し、実際の手術現場を指導医の先生の隣で見させていただいたこともありました。ロールモデルとなる先生が多いことも当院の魅力の一つです。患者さんが元気になっていく姿をみて、上級医の先生方のように地域住民の日常生活を支えられる医師を目指したいと思います。



DOCTORS'
VOICE
06
初期研修医

出身地：神奈川県横浜市
出身大学：産業医科大学

KEYPOINT 01 研修の流れ

当院は、年間約7,300台以上の救急車の搬送を受け入れている横浜市でも有数の救急病院です。2010年には地域医療支援病院の承認を受け、より一層地域医療に力を入れています。横浜市北部医療圏の2次救急拠点病院としてER・循環器センター・脳卒中センターを備え、24時間体制で患者さんを受け入れ緊急手術にも対応しています。

院内の研修だけでなく、院外の研修施設にて研修を行うこともあります。当院の看護師や、他病院の研修医とともに静脈・動脈採血、注射、気管挿管を含む気道管理、経鼻胃管挿入、BLSについて実技研修を行います。

1年次



2年次



*ローテーションは順不同。*救急については、週1回の救急外来当番、ER当直で対応。



KEYPOINT 02 数字で読み解く

床数 **218** 床 救急指定 **2** 次救急 1日平均外来患者数 **341.0** 名/日

1日平均救急外来患者数 **35.5** 名/日 1日平均救急車搬送患者数 **20.5** 名/日 心肺停止状態搬送患者数 **3** 名/年 研修医以外の当直医数 **5** 名

常勤医師数 **55** 名

指導医数 **10** 名

初期研修医数 **6** 名

職員数 **611** 名

看護職員 **344** 名

コメディカルスタッフ ... **131** 名

事務員 **136** 名



納涼会、忘年会など院内親睦会も毎年開催しています!

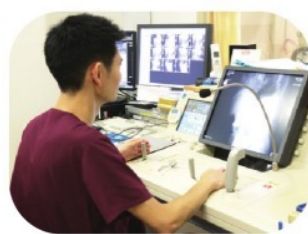
初期研修医
採用予定人数

4 名

内科、外科、
ICU、SCU、
ハートセンター
当直。

KEYPOINT × KIKUNA MEMORIAL HOSPITAL

KEYPOINT 03 充実した研修内容



画像診断トレーニング

当院は放射線診断専門医が常時2名以上で高機能診断機器を用いた画像診断、IVR等を行っています。研修医は研修中に専門医の指導のもと実践的画像診断ができることを目標に以下の研修を必修としています。

ランチョンレクチャー

週に1度、昼食時間を利用して研修に含まれない診療科の講義を受けます。皮膚科、泌尿器科、NST。また、救急に必要な知識の補充も講義で行います。



症例検討会

毎週土曜日の朝に医師全員の出席のもと症例カンファレンスを行います。研修医は持ち回りで、それ迄に体験した症例のプレゼンテーションを行います。

KEYPOINT 04 ER当直



救急研修は週1回の当番制!
長期にわたり、継続して救急外来を経験することで、さまざまな症例を診られます。

救急車、独歩の患者さん、時間外診療の患者さんを研修医、レジデント、スタッフと相談しながら、初期検診、アドバンスド・トリアージを行い、初期治療または各専門の科にコンサルトします。業務内容については、救急総合診療部に従います。

KEYPOINT 05 専門研修

初期臨床研修修了後、引き続き当院の専門研修へ移行できます!

2年間の初期臨床研修を修了された医師で、専攻医として専門医資格取得を目指す方は、当院の研修プログラムにご応募いただけます。当院で初期臨床研修を修了された方はもちろんのこと、他院で研修をされていた方からも、多数ご応募いただいております。



KEYPOINT 06 OFFも充実の医師ライフ!

横浜を満喫できる好立地!

休日は横浜でごはんを食べることが多いです。みなとみらいや遊園地も近くにあり、中華街で食べ歩きするのもオススメです!



東横線で渋谷へも20分!

休日は東横沿線の美味しそうな飲食店をリサーチして遊びに行きます。都心へも近いので自由が丘や中目黒など幅広く街を堪能できます!

趣味のダイビングを堪能!

新横浜駅も近く、新幹線で関西方面へもアクセスが良好です。休日は趣味のダイビングをしに伊豆の海まで出かけます!



INFORMATION

募集要項

- 【 募集定員 】 4名
- 【 応募資格 】 3月卒業、3月医師国家試験合格者
- 【 身分 】 研修医(常勤)
- 【 研修手当 】 1年次：4,200,000円 / 年
2年次：4,560,000円 / 年
日当直料：10,000円 / 回
時間外手当：時間計算(1回上限15,000円)
その他手当有り
- 【 社会保険 】 健康保険・厚生年金保険・雇用保険・労災保険
- 【 医師賠償責任 】 病院自体の加入あり
- 【 保険個人加入 】 各個人の判断に任せる
- 【 宿 舎 】 単身用あり
- 【 応募必要書類 】 ・選考試験受験申請書、当院書式の履歴書
<http://www.kmh.or.jp/resident/pdf/jukenshinsei.pdf>
上記アドレスよりダウンロードしたファイルをそのまま印刷し、手書き記入の上提出してください。
 - ・履歴書
 - ・成績証明書
 - ・健康診断書(学校書式で可)
 - ・卒業見込証明書以上、各1通を提出してください
- 【 応募方法 】 お電話またはメールにて試験希望日を調整の上、応募必要書類を試験日1週間前までに担当者宛にご郵送ください。
- 【 応募締切 】 定員に達するまで
- 【 備 考 】 事前に「病院見学・実習」に参加されることをおすすめします。

病院データ

運営団体：医療法人五星会 菊名記念病院

設立年月日：平成3年7月15日

病院長：村田 升

診療科

内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、アレルギー科、外科、整形外科、脳神経外科、心血管外科、皮膚科、泌尿器科、放射線科、麻酔科、精神科、婦人科、乳腺外科、救急科、臨床検査科、腎臓内科、内視鏡内科、肝臓内科、神経内科、糖尿病内科、リハビリテーション科、病理診断科、総合診療科、美容皮膚科

最新設備機器

MRI、MDCT、DSA、シネアングロ2台、マンモグラフィ、血液浄化装置、体外衝撃波結石破砕装置 ほか

各指定

地域医療支援病院、ISO9001 認証取得病院、日本医療機能評価機構認定病院(3rdG:Ver1.1)、横浜市二次救急拠点病院、厚生労働省臨床研修指定病院、看護師特定行為研修病院

病院見学



- 実施時期… 随時。日程は個別調整
- 対象学年… 4年 5年 6年
- コース… 日帰りコース
- 申し込み方法… 詳細は当院ホームページ参照



試験情報

- 実施日程… 7月～9月頃実施。日程は個別調整
- 試験内容… 小論文 ※別途、面接あり

アクセス



- 電車でお越しの場合
JR横浜線・東急東横線「菊名駅」東口より徒歩4分
- バスでお越しの場合
臨港バス 鶴01系統「菊名駅前」下車徒歩3分
臨港バス 鶴01系統「菊名小学校入口」下車徒歩2分
横浜市営バス 41系統・59系統「菊名小学校入口」下車徒歩2分
- お車で越しの場合
有料の駐車場を設けています。(2時間まで…1時間/100円、2時間超…30分/100円)
網島街道から正面玄関の方へお入りください。
- シャトルバス(新横浜リハビリテーション病院行き)
新横浜リハビリテーション病院行きの無料送迎バスを運行しております。



医療法人五星会
菊名記念病院

〒222-0011 横浜市港北区菊名4-4-27

Tel : 045-402-7117 Fax : 045-432-2742 E-mail : t-ishida@ymg.gr.jp

<http://www.kmh.or.jp>

菊名記念病院

検索

